

新庁舎建設の基本理念と方向性、新庁舎に求められる機能

1. 新庁舎建設の基本理念

新庁舎建設は、第4次総合計画における将来像「みんなが集う みんなで育む みんなに優しい みんなを結ぶ ～ちはやあかさか～」を実現するため、むらづくりを進める核となる新庁舎として位置づけ、村民のつながりや絆を育み、村民主体のむらづくりの拠点として、村民生活を支えるとともに、村民の安心・安全を守る防災拠点として整備を進めます。

新庁舎建設の基本理念

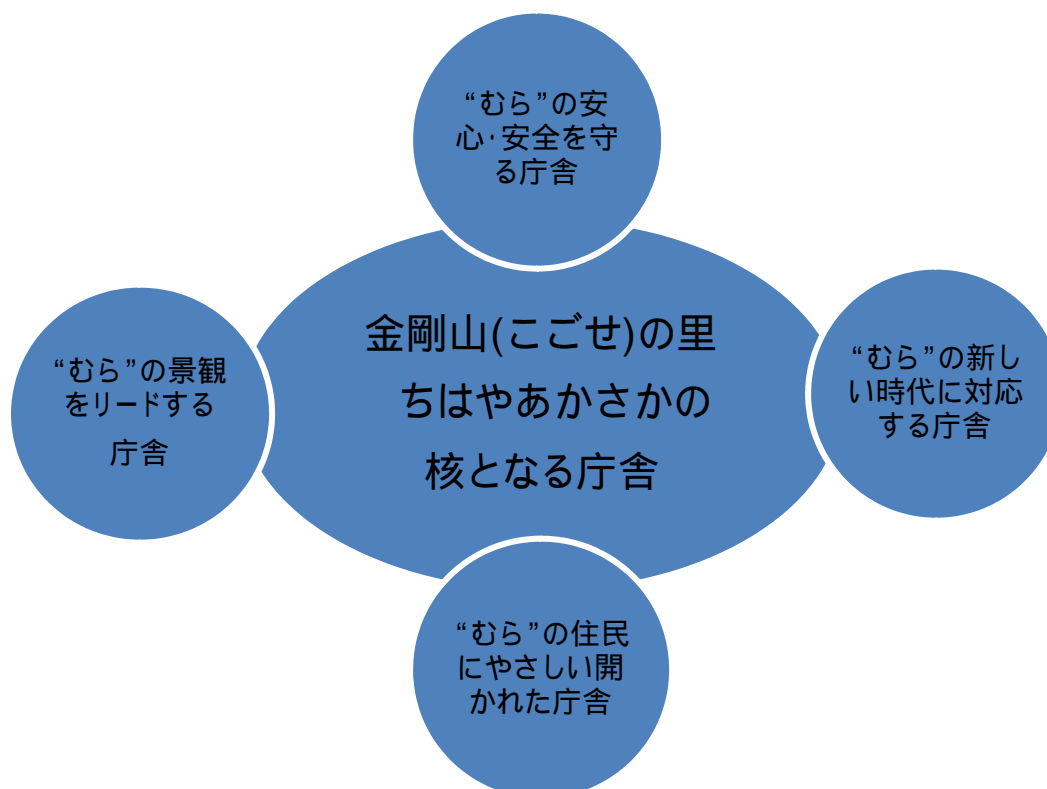
～ 金剛山(こごせ)の里 ちはやあかさかの核となる庁舎～

“むら”の安心・安全を守る庁舎

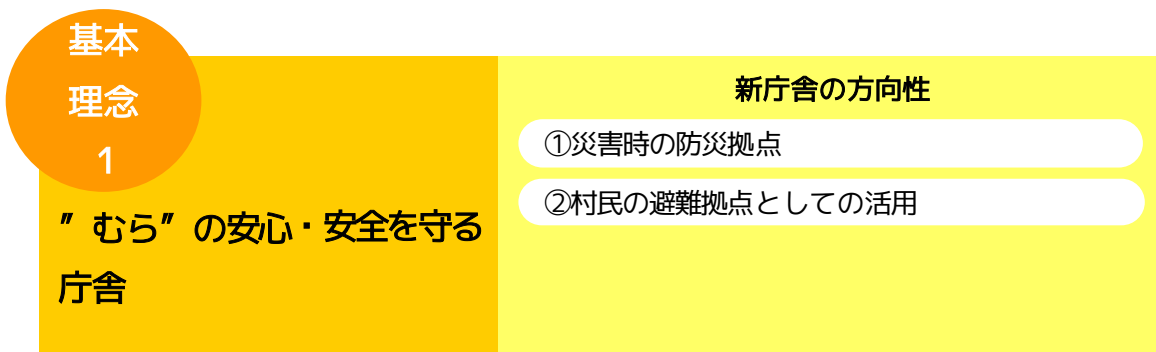
“むら”の新しい時代に対応する庁舎

“むら”の住民にやさしい開かれた庁舎

“むら”の景観をリードする庁舎



2. 新庁舎の方向性



最近多発、多様化する災害に対して、庁舎は柔軟、迅速、的確に対応するむらの防災拠点としての基本機能を確保します。

庁舎は高い耐震性能を有し、災害時の対策本部や復興本部の機能を備えた防災拠点機能を強化し、村民の安心安全を守る庁舎として、「安心・安全のむら千早赤阪」の拠点をめざします。

災害時の防災拠点

- ・災害時の対策本部としての防災拠点機能を確保します。
- ・緊急時に迅速で正確な情報を伝達する防災システムなどを確立します。
- ・災害時に防災備蓄倉庫や耐震貯水槽等のバックアップシステムを充実し、防災活動に支障のない庁舎とします。

村民の避難拠点としての活用

- ・村民の一時避難拠点としての利用可能な屋外スペースを確保します。

基本 理念

2

“むら”の新しい時代に対応する庁舎

新庁舎の方向性

- ①村民の利便性の向上
- ②行政サービス機能・業務の向上
- ③環境にやさしく経済性に優れたグリーン庁舎
- ④人にやさしい庁舎

国際化、少子高齢化、環境共生、省エネルギーの時代に対応する庁舎とします。また、政ニーズの多様化や情報化の飛躍的な進展を視野に、将来の変化に対応できるフレキシブル（柔軟）な庁舎をめざします。

村民の利便性の向上

- ・効率的で適切な行政サービスを提供するため、ワンストップサービス化（窓口）に向けた施設整備を進めます。
- ・車で訪れる方のために駐車スペースの充実を図ります。

行政サービス機能・業務の向上

- ・新庁舎に統合することで各行政部門が集約され、村民に対する行政サービス機能・業務効率の向上を図ります。
- ・行政サービスの向上のため、今後さらに進化する高度情報化に対応できる、いわゆる電子データの保護・管理、村民の個人情報や各種情報の漏えい防止など情報セキュリティの強化が図れる施設とします。

環境にやさしく経済性に優れたグリーン庁舎

- ・環境配慮型の庁舎とし、環境にやさしい持続可能な庁舎をめざします。
- ・自然エネルギーの積極的活用等、太陽光や木質バイオマスなどの再生可能エネルギー、省エネルギーの設備導入など環境に配慮した効率的・経済性に優れたグリーン庁舎をめざします。
- ・財政に与える影響を抑えるため、過剰な投資とならないよう、長期にわたり庁舎としての機能を維持管理するため、施設の長寿命化、維持管理の容易さ、設備更新への対応などの工夫により、長期的な維持管理経費の軽減が可能な効率的かつ経済的な施設をめざします。

人にやさしい庁舎

- ・すべての人に快適な環境を提供する「ユニバーサルデザイン」により、人にやさしい庁舎をめざします。
- ・庁舎に使用する材料は自然素材や人にやさしい素材を積極的に使用します。

基本 理念 3

”むら”の住民にやさしい開かれた元気な庁舎

新庁舎の方向性

- ①むらの総合的な情報発信拠点
- ②村民活動の発信・交流拠点
- ③元気なむらづくり拠点

庁舎は、村民の利用しやすさを基本に、落ち着いてサービスが受けられる環境を第一とします。また、村民が気軽に立ち寄ることができ、親しみやすくわかりやすい庁舎とします。

さまざまな来庁者に配慮した施設とし、村民に開かれた庁舎をめざします。

また、行政改革や地域主権、村民参加の推進等、地方自治の進展に対応して地域社会の連携を深め、村民と行政がともに進めるむらづくりの拠点となる庁舎をめざします。

むらの総合的な情報発信拠点

- ・きめ細かな行政情報を発信します。
- ・むらの情報や行政情報の検索を支援します。

村民活動の発信・交流拠点

- ・村民が出会い、交流するオープンスペースを確保します。

元気なむらづくり拠点

- ・地域社会の連携を深め、村民と行政がともに進めるむらづくりの拠点をめざします。
- ・地域の活性化策などの施設機能を加えた複合機能施設をめざします。

基本
理念
4

”むら”の景観をリードする
庁舎

新庁舎の方向性

- ①地域に溶け込み、景観をリードする庁舎
- ②千早赤阪村らしさを醸し出す庁舎
- ③村民から親しまれ、愛着が持たれる庁舎

本村の有する自然、歴史、文化、産業、都市機能など、地域の特色を活かした千早赤阪村らしい庁舎とします。

また、村民やむらを訪れる人に、「豊かな歴史と美しい自然のむら千早赤阪」を実感できる庁舎とします。

地域に溶け込み、景観をリードする庁舎

- ・地域の特色や敷地特性を活かして、村民に開かれた親しみやすい空間を創造します。
- ・周辺環境に圧迫感を与えないよう配慮し、通行者にうるおいある景観を提供します。

千早赤阪村らしさを醸し出す庁舎

- ・千早赤阪村の歴史、風土、自然景観を活かした千早赤阪村のイメージを表現し、村の景観づくりをリードします。
- ・村の風土や空間要素を、現代の先進的な技術と村の地元産業の一つである林業などを活かした材料で再構成し、風土と現代の調和をめざします。

村民から親しまれ、愛着が持たれる庁舎

- ・千早赤阪村の歴史や文化を感じ、村民の活動、交流を通じて、むらへの愛着感が醸成される庁舎をめざします。

3. 新庁舎の基本的な機能

防災機能

- ・ 災害対策本部会議室等の災害対策機能の整備
- ・ 災害応急対策活動に必要な施設としての耐震性を有した耐震構造等
- ・ 災害管理拠点として速やかに対応できるネットワークや情報システムなどの整備
- ・ 備蓄防災倉庫の整備、自家発電設備や貯水槽の設置などライフラインの整備
- ・ 避難地としての駐車スペースの整備

窓口機能（ワンストップフロアー）

- ・ 関連窓口の近接設置などによるワンストップサービス手法の導入
- ・ 窓口環境の向上と待合スペースの確保
- ・ プライバシーに配慮した相談スペースと個別カウンターの設置

執務機能

- ・ 仕切りのないオープンスペースフロアを基本
- ・ 事務スペース内に作業・打ち合わせスペースの設置
- ・ 収納スペースの確保
- ・ 会議室スペースの確保

住民機能

- ・ 協働のむらづくりの拠点としての情報共有コーナーの設置
- ・ 利用しやすい空間としてのロビーの確保

議会機能

- ・ 村民に開かれた議会機能の確保
- ・ 開かれた議会のための利用しやすい傍聴席の確保

施設管理機能

- ・ 機械設備や防犯設備等を一元的に管理するシステムを導入
- ・ 地元産材の活用
- ・ 自然エネルギー、省エネに配慮した設備等の整備（LED照明などの省エネ型機器の導入、太陽光発電装置の設置等）

複合施設機能

- ・ 商業系などの施設機能を導入